

あしたの風

第99号

令和6年9月1日 発行
編集発行 秋田市教育委員会
生涯学習室

秋田市の生涯学習



土崎港曳山まつり

～土崎地区～

☆☆西部地区☆☆

西部地区学習ボランティア

「コスモスの会」

会員 齊 藤 裕美子

平成二十七年に秋田市学習ボランティアの会の三十周年記念祝賀会が開催され参加したことを思い出し振り返ってみました。

あれから、九年の時間がたち四十年近くも子育てボランティア活動を続けている先輩達には、尊敬の念に堪えません。

私が子育てボランティア活動に携わったのは西部公民館の臨時職員として勤務し、お手伝いをさせていたから御縁です。

当時は参加親子も大勢でとても賑やかな会でした。

この会の自慢は先輩達が制作し代表作にもなっている「はらぺこあおむし」の絵巻物・「大きなかぶ」の扮装劇・十匹の野ねずみ（手遊び）・はたらく車のペープサートなど作品がいろいろあります。お声をかけていただければ、出前いたしますよ！

最近では、お仕事されている親御さんが多くなっているのか、イベント等に参加される方も少なくなっているのが少し残念です。

私自身、今は仕事に追われ充分な貢献はできておりませんが、資料作りや、ささやかな応援の気持ちのみで携わっております。

西部地区学習ボランティアの活動は西部市民サービスセンター生涯学習の事業「子育てママのふれあい広場」等でお手伝いしております。

いつまでもこの会が存続し技を継承していただけますように、協力していただける方は、お声をあげてください。よろしくお願いいたします。今後とも皆さんの健康と楽しい人生を願っています。



西部地区学習ボランティア「コスモスの会」自慢の「はらぺこあおむし」絵巻物



みんなでクリスマス会を楽しみました。

☆☆土崎地区☆☆

「土崎湊魂がひとつ」

土崎地区生涯学習奨励員 保坂 せい子

毎年七月二〇日・二十一日に土崎神明例祭が行われます。

土崎湊町がひとつになる土崎湊曳山祭り（平成二十八年十二月一日ユネスコ世界無形文化遺産登録）であります。

この時ばかりと老いも若きも長年培われた湊魂が動き始めます。太鼓、笛に合わせそれぞれの町内の自慢の踊りを見物人に披露します。

昔は、土崎の祭りにはどこの家でもカスベ煮を作っており、また家々により味が違い、土崎の町はどこを通ってもカスベ煮の香りであったと言われていました。

民謡の「秋田音頭」の歌詞にも唄われております。

この曳山祭りをきっかけに他県からの観光客、また土崎より他県に転出された方々に、ぜひこのカスベ煮を味わっていただきたいと、土崎婦人会がみなと歴史伝承館のご協力により、曳山湊祭りの七月二十一日に土崎みなと歴史伝承館にて試食コーナーを設けております（十一時～十三時）。土崎湊曳山祭りを見物の際は、ぜひお立ち寄りいただき昔ながらのカスベ煮を試食してみたいかがでしょうか。心よりお待ちしております。

これからも曳山祭りを重点とし、益々土崎湊町の絆と繁栄に協力して参りたいと思います。



土崎湊曳山祭りを見物の際は、ぜひとも昔ながらのカスベ煮をお試ください。



土崎湊曳山祭り・旭町一区の山車
「昇る旭光 憤怒の蜂起」

☆☆中央地区☆☆

アトリオン考

中央地区生涯学習奨励員 佐々木 孝

秋田市の中心市街地の一角に、アトリオンという名称の建築物があります。秋田県所有の建築物です。

始めにおことわりしておきますが、この建物、実は、私が設計を行いました。私の職業は建築家です。

アトリオンの原義は、「アトリウム」です。丁度、日本の「神社」や「公民館」の様に人々が集まることの出来る施設です。気候温暖な地中海に建てられたこの施設は、屋外が生活の舞台となる地中海世界では、この建物の内外が、人々の交流の場として、無くてはならないものとなりました。

そのアトリオン、人々が行き交う秋田駅からさほど離れていない所にある現代の複合ビルであります。名前が、名前に込められた人々が集う場所、いろんな活動が活発に行われる場所として、これからも広く親しまれることを願います。



アトリオン
(秋田総合生活文化会館・美術館)

☆☆南部地区☆☆

昔の遊びで「世代間交流会」

南星大学 伊藤 忍

昔ながらの遊びで子供達と高齢者が交流を深めようと、「世代間交流会」がコロナウィルスの影響により中断していましたが、一月十日、四年ぶりに南部市民サービスセンター別館において開催されました。

スタッフとして別館職員はじめ別館を利用している高齢者学級・女性セミナーなどの人達がお手伝いしました。

会場は別館の多目的ホールで行われ、各コーナー毎にブースが設けられ、「昔遊びコーナー」では、お手玉・けん玉・折り紙・こま回し・おはじきなど五種類の遊びがあり、他に「大福餅づくり」や「バルーンアート」のコーナーが設置されました。子供達はそれぞれの遊びに興味津々で、あっちこっちのコーナーを回り歩いておりました。

私は他の三名の方々と「けん玉」を担当し、子供達といっしょに昔に戻って遊びに興じました。特に印象に残ったのは、小学校低学年の女子児童がけん玉に熱中して膝を曲げたり、いろいろと工夫をし要領をつかみ取るのに苦労しておりましたが、諦めないで挑戦し、けん玉が皿の上に乗った時は母親とハイタッチして喜びをかみしめ合っていたことです。

子供達は大福餅づくりを体験したり、バルーンアートコーナーでは風船で作った花や動物など人氣があり長い列ができていました。

この「世代間交流会」に参加して、子供達が一生涯懸命に頑張っている姿やみんなが喜んでくれたことが、私には励まされ元気をもらった一日でありました。



筆者は「けん玉」を担当しました。



4年ぶりに「世代間交流会」を開催しました。



大福餅づくりを体験しました。

☆☆雄和地区☆☆

「六十過ぎの手習い」

カリンバこすもす代表 金 育美

私が生まれ育ったのは男鹿方面の小さな町ですが、小中学校を有し、三百軒もある大きな集落でした。習字も算盤もピアノもお教室があつて、私は習字と算盤は習わせてもらったけれど、ピアノだけは母が「なんの役にも立たない」というなんともひどい理由で習わせてもらえませんでした。

やがて大人になり結婚し、子育ても一段落して、「老後」の二文字が目の前にちらついていた頃、いつかほと思っていた何か楽器をやりたいという思いが再燃。まずは若い頃ちよつとだけかじったオカリナを半年ほどやってみただけ、イマイチ。次にカリンバというとてもマイナーな楽器に出会い、YouTube先生を頼りに独学。今は興味を持っていくれた仲間八人でサークルを立ち上げて活動しています。

そしてある時、私はハープという楽器に出会ってしまったのです。音色の美しさと所作の優雅さに一瞬で魅せられました。ハープといえば普通に想像されるのはグランドハープですが、実はハープにもいろいろな大きさや弦の数があることを知り、その時の方が演奏された十五弦の小さなクリスマスハープ。これなら音楽の素養がゼロの私でもできますか？とその場で弟子入り希望してから一年と少し。

私は「夢は願えば叶う」という成功者の言葉があまり好きではありません。叶わない人も、夢さえ見つけられない人もたくさんいるから。でも私のように楽器を演奏したい、生涯続けられるスポー

ツをやりたいという小さな夢は持ってもいいし、特別な人になれなくても、その夢に出会えたことがとても幸せだなと思うこの頃。六十過ぎての手習い、どこまでいけるかなと楽しみながら続けていきたいと思えます。



雄和市民サービスセンターのユービス祭りで先生のお手伝いをさせていただきました。



60過ぎての手習いです。



15弦と小さなクリスマスハープです。

【令和六年度研究大会について】

第四十六回秋田市生涯学習奨励員

研究大会のお知らせ

今年の研修大会は、河辺地区と雄和地区が担当地区となり、令和六年十一月十五日（金）に実施する予定で準備をしているところです。

担当地区の特色を生かして、秋田県農業試験場で秋田県の農産物について学ぶ機会を設けるとともに、生涯学習奨励員同士の交流を深める内容を検討しております。

詳細が決まりましたらご案内いたしますので、予定しておいてくださるようお願いいたします。



編集後記にかえて

世界では、毎日のように、信じがたい事案、悲しく辛く、痛ましい事案の中、平和を願う祭典オリンピックが十七日間、勇気を持って最後まで諦めない、自信を持って各国の選手、激闘終え、感動する場面が多くあったような気がする。

相手をお互いに讃えあう。

又、励まして元気にさせる「鼓舞」という

言葉を何度も聞いたような気がする。

選手には、大きな力になったと思う。

強い気持ち、諦めなければ必ず花が咲く。

自身も、その思いを大切に委員の皆さんと、

笑顔な日々になる事を願い頑張りたいと思う。

(石塚)



編集委員 (秋田市生涯学習奨励員)

- 佐々木 孝(中央) 佐藤 美枝子(土崎)
- 佐藤 清子(西部) 坂田谷 義憲(東部)
- 塚田 朋子(南部) 鎌田 礼子(北部)
- 石塚 小枝子(河辺) 秋元 真美(雄和)



『あしたの風』第九十九号

発行年月日

令和六年九月一日

編集発行

秋田市教育委員会生涯学習室

秋田市山王一丁目一番一号

電話 〇一八―八八八―五八一〇

この広報誌は

発行部数 一、〇〇〇部

配布方法 無料配布